



関東の静岡県における令和2年産の栽培面積は、15,200haで、全国の約40%を占めています。

お茶には、アミノ酸、カテキン、カフェイン、さらにビタミンCなどが豊富に含まれています。

また、関東の各地には、様々な銘柄のお茶が生産されています。👍

お茶のことは、静岡県のホームページ「めざせ！お茶博士こどもお茶小事典」で、色んなことが学べます。

資料：農林水産省「令和2年産作物統計」

都 県	主 な 銘 柄
茨 城 県	猿島茶、奥久慈茶、古内茶
栃 木 県	鹿沼茶、黒羽茶、板荷茶（いたがちゃ）
埼 玉 県	狭山茶
千 葉 県	佐倉茶、八街茶（やちまたちゃ）
東 京 都	東京狭山茶
神 奈 川 県	足柄茶
山 梨 県	南部茶
長 野 県	伊那茶、赤石銘茶
静 岡 県	静岡茶、川根茶、掛川茶、東山茶

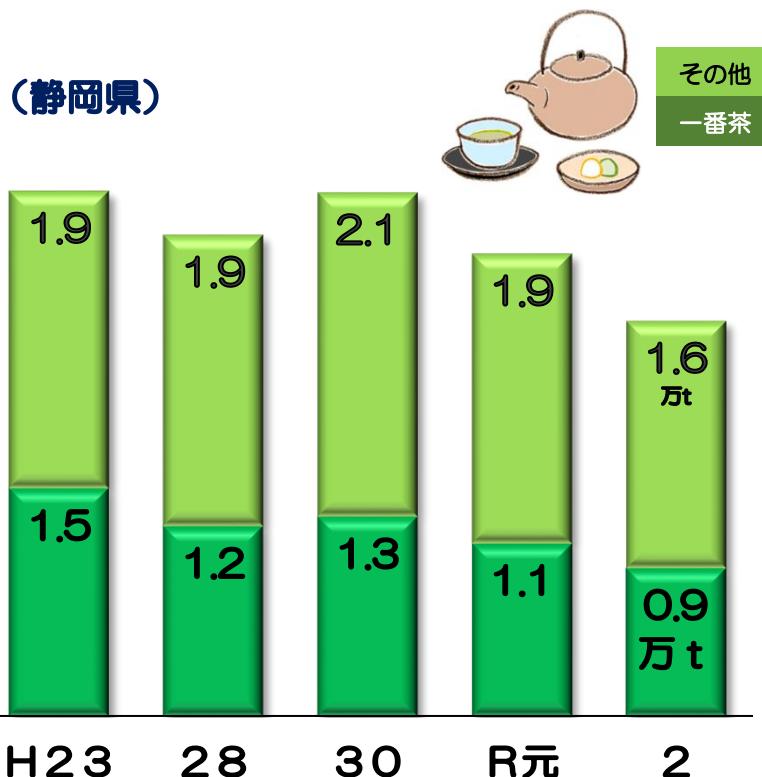
## お茶（製茶）になるまで



## いろいろなお茶の種類

せんちゃ <b>煎 茶</b> 	たまりよくちゃ <b>玉緑茶</b> 	ばんちゃ <b>番 茶</b> 
ぎょくろ <b>玉 露</b> 	まっちゃ <b>抹 茶</b> 	ほうじちゃ <b>焙じ茶</b> 

## 荒茶生産量の推移



写真：静岡県「めざせ！お茶博士 こどもお茶小事典」より

資料：農林水産省「平成23年、28年、30年、令和元年、令和2年産作物統計」